

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

共同生活介護事業所どんまいハウスでは、精神障がい者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域移行支援事業（長期入院の方の退院促進他）を中心に、長期入院を余議なくされていた方々の受け入れを進め、充実した地域生活を送ってもらえることに力を入れました。また、ケアホームでの生活から、より自立した生活の一人暮らしを目標とする方を支援し、今年度は3名の方が単身生活へと移行できました。

就労継続支援B型事業所どんまいクラブは、今年度利用実人数が29名でした。施設外就労として取り組んでいたマンション清掃（事業名：まんてん企画）は、平成23年11月より、ゆっくりクラブが請け負っていた4物件を含めた全9物件をどんまいクラブが全て請け負うこととなりました。また施設外支援も継続して進めており、2名が就職に結びつきました。自主製品の制作にも力を注いでおり、新商品の開発にも努めました。

ゆっくりクラブは、平成23年4月に地域活動支援センターII型から就労継続支援B型事業所に移行しました。さらに平成23年度愛媛県障害者自立支援基盤整備事業により、オンデマンド印刷機器及び周辺機器を整備して頂き、平成24年3月より従たる事業所（定員10名）を開設しました。主たる事業所では『弁当のゆっくり屋』、従たる事業所では『いんさつの咲々屋』の事業を柱とし、工賃倍増支援アドバイザー派遣事業を利用して、工賃倍増に力を入れるなど事業展開を行いました。

法人として、松山市の医療機関、行政機関、精神関係の活動をしている法人にお集まりいただき、2カ月に一度（奇数月）「精神保健福祉支援連絡会議」を開催しました。この会議は法人事業の活動報告とともに、精神障害福祉に関する幅広い意見交換の場として、当法人の活動において重要な会となっています。また毎年夏に開催している“夕涼み会”は約120名の参加をいただき、関係機関の方々と交流を深めることができました。

松山市が県の委託事業としてすすめている地域生活移行支援特別事業には、法人から1名の地域移行推進員を登録派遣し、退院促進に向けて活動を続けました。

また行政・各機関からの理解・協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人として出席し、交流を深めました。

尚本年度、大学、専門学校（計4校）より7名の精神保健福祉士養成課程実習生を受け入れ、専門職の教育、人材育成に寄与しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業（ケアホーム）	4月1日 ～3月31日	松山市内	24名	松山市内の精神障害者30名	52,621
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約30名	28,714
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブ（主たる事業所、従たる事業所）	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約40名	30,623
その他、当法人の目的を達成するための事業	内外主催の研修会、他事業所の交流会、勉強会、実習生受け入れなど	4月1日 ～3月31日	松山市内	36名	全職員、実習生	813

H 2 3 年度法人活動報告

- 4/1 ゆっくりクラブ職員1名入職
どんまいハウス職員1名入職
- 4/8 共同募金配分金交付式（スタッフ2名）
- 4/20 第10号どんまい便り発行
- 5/6 社会福祉法人南風会内覧会出席（スタッフ6名）
- 5/10 法人連絡協議会出席（理事）
- 5/11 第24回精神保健福祉支援連絡会議（愛媛県男女共同参画センター）
- 5/18 地域家族会「明星会」総会出席（スタッフ1名）
- 5/21 H23年度通常総会開催
NPO法人ほっとねっと親睦会出席（理事長・スタッフ5名）
- 6/10 ボランティア活動推進講演会参加（スタッフ4名）
- 6/13 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 6/20 就労継続支援A型事業所ふうしすてむ お披露目会出席（理事長・理事・スタッフ）
- 6/22 消防訓練（本町センター・三番町事務所・ケアホームいずみ・ケアホームこだち）
- 7/1 すけっと工房内覧会出席（スタッフ5名）
- 7/4 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 7/6 第25回精神保健福祉支援連絡会議（愛媛県男女共同参画センター）
- 7/8 第11号どんまい便り発行
- 7/12 法人連絡協議会出席（理事）
- 7/15 あみ徳島大会（～17日）（スタッフ9名）
- 7/25 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 8/5 障害福祉サービス事業者等集団指導・説明会出席（スタッフ2名）
- 8/16 障害者相談支援従事者初任者研修（～17日）（スタッフ6名）
- 8/27 どんまい夕涼み会（ホテル奥道後）・参加者約90名
- 9/5 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 9/6 どんまいクラブ基盤整備事業としてバモスホビオ納車
- 9/7 第26回精神保健福祉支援連絡会議（愛媛県男女共同参画センター）
松山東雲女子大学実習生受け入れ（～26日）
- 9/12 どんまいハウス職員1名入職
- 9/13 法人連絡協議会出席（理事）
- 9/15 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 10/11 四国中央医療福祉総合学院実習生受け入れ（～14日）
- 10/14 接遇・マナー研修受講（スタッフ3名）
- 10/21 どんまいハウス合同いも炊き会
- 10/22 「こころの健康フォーラム in 堀江」出店参加、企画・展示コーナー担当

H 2 3 年度法人活動報告

- 11/2 第27回精神保健福祉支援連絡会議（愛媛県男女共同参画センター）
- 11/7 ケアホーム入居者選定会議（理事・ケアホームスタッフ）
- 11/8 法人連絡協議会出席（理事）
- 11/12 愛媛新聞“「カレンダー共生願って」童話アレンジ結末温か”記事掲載
- 11/30 第12号どんまい便り発行
- 12/2 サービス管理責任者研修（スタッフ4名）
- 12/19 消防訓練（本町センター・三番町）
- 12/29 消防訓練（ケアホームこだち）
- 12/30 消防訓練（ケアホームいずみ）
- 1/10 法人連絡協議会出席（理事）
- 1/11 第28回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 1/14 サービス管理責任者分野別研修・地域生活受講（～15日）（スタッフ2名）
- 1/18 ゆっくりクラブ基盤整備事業オンデマンド印刷機等設置
- 1/21 サービス管理責任者分野別研修・就労受講（～22日）（スタッフ2名）
- 1/27 どんまいクラブ中予地方局地域福祉課による実地指導
- 2/1 ゆっくりクラブ職員1名入職
- 2/8 NPO法人こころ塾内覧会出席（スタッフ7名）
東雲女子大学講義（スタッフ1名）
- 2/9 クレーム対応講座受講（スタッフ5名）
- 2/12 ゆっくりクラブ、どんまいハウス イーパーツリユースパソコン寄贈
- 2/16 どんまいハウス職員1名入職
- 2/25 スキルアップ研修受講（スタッフ7名）
- 2/27 東雲女子大学実習生1名受け入れ
- 3/1 どんまいハウス職員1名入職
- 3/7 第29回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 3/11 「こころの健康フォーラム」出展参加、企画・展示コーナー担当
- 3/13 ゆっくりクラブ内覧会
法人連絡協議会出席（理事）

平成24年度事業計画書（案）

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業所、障害者就労継続支援B型事業所の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 共同生活介護事業（ケアホーム）においては、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院後の生活のサポートが出来る“どんまいハウス”5施設（こだち、いずみ、こもれば、わかば、ひなた）を運営し、社会的入院の人の退院促進、自立生活へのサポートを進めていきます。
また、入居者の方の自立に向けた単身生活へのサポートを始め、地域の交流会などに積極的に参加して入居している方々が社会の繋がりを作れるような事業展開をしていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所“どんまいクラブ”では、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な便宜を図ると共に適切な指導、訓練を行っていきます。
また、自主製品の開発や販売促進に努めるとともに、施設外支援及び施設外就労も継続して行い、通所者それぞれの就労について、ニーズに応えられるよう計画的に事業展開していきます。
- ③ 就労継続支援B型事業所“ゆっくりクラブ”では、日中活動や生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な便宜を図ると共に適切な指導、訓練を行っていきます。弁当作りや印刷製本作業を通し、利用者ひとりひとりにあった援助をおこない、社会とのつながりや就労移行など、利用者のニーズに応えられるよう事業展開していきます。
- ④ 事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会・勉強会なども企画し、研鑽に努める所存です。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー・イベント・交流会などに利用者ともども積極的に参加して、市民との交流を通じて、その理解を深め地域生活支援活動を推進していきます。精神保健福祉士を目指している実習生の受け入れも積極的に行い専門職の人材育成に寄与します。また行政がすすめる地域生活移行、地域生活定着支援事業に精神保健福祉士を派遣し、協力体制を継続します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業（ケアホーム） どんまいハウス	通年	松山市内	22名	松山市内の精神障害者30名	55,500
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約25名	31,350
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約40名	42,100
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	内外主催の研修会、他事業所との交流会、勉強会など	通年	松山市内	33名	全職員及び実習生	500